

6月ほけのこよじ

太陽の子保育園 2024年6月号



梅雨の時期、お外で遊べずにこどもたちもいららが溜まっているかもしれません。雨が止んだ時には、虹を探しにお散歩にでかけてみてはいかがですか。光の屈折の関係で、朝と夕方は虹がみえやすいので、夕立の後が狙い目。太陽と反対の方角を探してみてくださいね。

蚊の季節になりました



レモンユーカリのアロマ虫よけスプレーを作り、戸外遊び前にスプレーをしています。

蚊にさされないように予防することが肝心です。

虫刺されには、市販のかゆみ止め「ムヒ」を使用します。肌が荒れるなど使用を希望しない方は、担任にお伝えください。



題字と手書きのイラストは、らいおん組さんにかいてもらいました。

歯科検診があります

13日 9時～

当日の朝はしっかりと朝ごはんを食べ、きれいに歯を磨いてからの登園をお願いします。また、歯のことで心配なことがありましたらご相談ください

大きなお口で「あ～ん」！先生にしっかり診てもらおうね



虫歯になりやすい 6歳臼歯



6歳臼歯って？

- ・前歯から数えて、6番目の歯。奥歯です。
- ・乳歯が全部はえたあとにはえてくる、永久歯です。
- ・6歳くらいにはえてくる奥歯(臼歯)だから、「6歳臼歯」と言います。



6歳臼歯の役割って？

- ・永久歯の歯並びを決める重要な歯
- ・食べ物を噛む力が一番強く、噛む作業の80%を担っています。6歳臼歯が一本でも無くなると、噛む力は半減すると言われています。



なぜ、虫歯になりやすい？

- ・はえ始めは、歯が硬くなくやわらかい
- ・歯の溝が多いため、食べかすがたまりやすい
- ・はえ始めは、まだ背が低いので歯ブラシが届きにくい



大人が仕上げ磨き

6歳臼歯がはえ始めたら、念入りに磨いてあげましょう



電気ケトルでのやけどに注意!

湯を沸かす「電子ケトル」が思わぬ形で火傷事故をひき起こしています。

電気ケトルは、沸いた湯をすぐに使う想定で作られているため、通常は倒すとお湯がこぼれる構造の商品が多く、注意が必要です。

子どもは大人よりも皮膚が薄く、やけどのダメージが皮膚の奥深くまで影響し重傷となってしまう可能性があります。湯などの液体によるやけどの場合、受傷範囲が広範囲になることもあります。

電子ケトルを使用する時は

- ・子どもの手の届かない場所で使用
- ・満水線を超える量の水を入れない
- ・残ったお湯は捨てる
- ・危険性や設置場所を子どもに伝える

※ 転倒流水防止構造の電気ケトルの使用を検討しましょう



倒せば熱湯

～事故の報告～

「キッチンの棚(高さ約50cm、引き出すタイプ)に置いた電気ケトルのコードを、つかまり立ちをしていたこどもが引っ張って、ケトルを倒してしまった。ミルクのために用意をした直後の湯がかかり、右脚にやけどを負い、通院が必要になった。なお、ケトルは転倒時に湯が漏れにくい構造だったが、ロックをかけていなかった。」(0歳10か月)

「電気調乳ポットに湯を入れて机に置いていた。ハイハイをしていたこどもが電源コードを引っ張ってしまい、ポットが床に落ちた。湯がかかり、腕等にやけどを負い、通院が必要となった。」(0歳5か月)

ぱんだ組さん うがいの保健指導

グループに分かれての指導です。

まずは、水を使わず練習。

ぱんだ組さんは初めての保健指導でした。お話と練習、楽しくできました。

保健指導から、毎日の活動でうがいを取り入れます。



真剣に説明を聞いています。



上を向いて、あ～～～

水道で、順番に練習です。

やっと、コップをもらって、ガラガラ ブクブク。



ガラガラガラガラ いい音!



上手だな～



一緒に ガラガラガラガラ 楽しいね♪

